

過期的な簡易ろ過完成

全町の水不足一舉に解決

十月十日、県下で最初の試みである、上水道に自然簡易ろ過方式を採用する画期的な工事が完了、目下試験給水中であるが結果は予想以上で、ここ数年にわたる夏季の水不足と北部給水も一挙に解決された。こゝで、つい最近までの水質状態は、いままで、町の給水状態は、春秋には一日消費五千五百石、この量はまた給水設備のフル稼働で、

運搬量であり、夏季にはこの二〇%増、さらに北部へ給水するにせよ、この二〇%増の必要があり、結局北部を含め約五〇%増の設備増強しなければならぬ。しかし、これは膨大な財源が必要でなく、困難であり、といつて、現状のままでは放置できない。こゝで町当局は再三にわたり熟考のうえ、前日したのが昨年味方村や戸頭な

どおこなっている自然簡易ろ過方式である。これは河底より直接浄水を取り入れるという簡単なもので、ばく大な巨費を要する浄水池の拡張工事など必要とせず、現在の倍近い水量が確保でき、しかも経費は僅少でよいといふもので、慎重研究のうえ、同時に給水ポンプ一台を増強し、こゝで「水」の問題は解決をみたわけである。

町営住宅第二次建築着手

年内までに十戸完成

十月二日、第二次の町営住宅が十戸、鶴沼地区に着手を開始した。

年内までには完成の予定で、請負者、安達建設は昼夜兼行、建築をいそいでいる。

完成と同時に希望者の抽選により、たぐちに入居させる予定。なお、先回はどのようにして入居されたかを調べてみると、

- 一次審査に選ばれた人 十四名
- 収入が多いため 九名
- 実状調査の結果 三名
- 現在白根に居住しない者三名
- 二次は抽選をする 三〇名

その抽選により五名当選。なお、収入が多くてベスしなかった理由は、町営住宅は第二

新規事業困難

協力を切望している町当局

町の税金の納入状況はどうか。本年度八月三十一日現在までの賦課総額は九百九十九万九千九百九十九円、そのうち納入された額は五百六十五万七千円。納入率は六十%という低調を示している。その内訳は、

△二十九年度八月三十一日現在 単位(千円)

科 目	賦課額	納入額	納入率
市町村民税	三、六七五	一、九八八	五八%
固定資産税	三、八九四	二、一〇〇	五四%
自販車荷車税	五、七四一	三、九二二	六八%
煙草消費税	八、〇九一	八、〇九一	一〇〇%
電気ガス税	三、三三八	三、三三八	一〇〇%

となつており、昨年の同期(五三)してわずかに九万五千円、納率と比べると七%上昇、良入率九%で、昨年同時の二〇%と比べると、本年の納率と比較すると、低調である。以上が町の納税状況である。



米供進むに調迅速

しほり染工業再開近し

その昔、全国の市場にその名をうたわれた白根の「しほり」染も、明治期に機械工業は圧倒され、現在ではその名もどきどきという惨状に陥つた。しかし、ここ数年、なんとか、この「しほり」染を復活せんものと、町の染物業者は、県、町と協議し、「しほり」染を再開、かつての盛地であり現在の唯一の独自生産地、名古屋の染業界に視察研究、最近ようやくプランができた。その再興計画

とは、「しほり」染は大量、機械製品では商品価値が少なく、アキラれる傾向が最近多くなつてきており、価格は多少高くと、も風雅なものという需要者の声も聞かれる。それに、どうしてでも手藝工業、つまり手先でやってこそアジがでる。結

局昔の豊かな経験を生かし、家庭の余剰労働を生産化する。町の強味を活用せよという理想である。たゞ、問題は、いかにして強固な販路組織をもつかが、将来のこととして残されてはいる。

いづれにしても、白根の特産品「しほり」染が、全国市場にその価値を問う日も遠くないことではないようだ。

刈り入れ

秋は足早に過ぎてゆく。空はあくまでも高く、ほろを、る風はさわやか。刈り入れにいそむ農家の表情を、昭和二十三年來の悪作とあつて明るい。米価、供米側等

まに決定をみず、一まつの不安がないわけではな、い、なにはともあれ、半年余にわたる労働が、くいられたよろこびに、利鎌の音もサク／＼か、やかにはずん／＼と、

連日、好天の割に、入れ日和がつづく。米の乾燥も申しぶんなく、品質も昨年よりグンと向上したという農協関係はなし。

供米は急ピッチに進んでいる。十月二十日現在、白の根町供出数量は、一、五八六俵、昨、同、二、三二二俵の増加。

浦原の米が日本の食卓を、にぎわすのも近い。

(寫眞 朝日新聞社提供)

主婦連に大むでの

昨日の経済事情は、営業を止めているものならぬと、夫一人の収入では、や、もすると家計を満たすことはできない。まして女世帯ではなおのこと。かといつて就職の口はせまく、また幼き子供をかゝえていては、そとで働くことはより困難。では、いったいどうしたらよいの、うかといふわけで、町関係は、県および通商省と連絡協議し、その対策をねつた。その結果、造花の「健全なる家庭内職」である。

賑わった敬老会

十月十日、白根校講堂で敬老会開催、七十才以上三百六十六名が招待された。白根校校歌の斉唱、小、中学生の舞踊等が新装なつたステージにくりひろげられ、心すくしの菓子味わいながら、秋の一日を楽しくすこした。高令者十名左の通りである。

山口	ヤト	三ノ町	九一才
小山	セイ	横町	九〇才
肥玉	エシ	魚町	八九才
西方	セシ	十五間	八八才
長井	セツ	七軒	八八才
白根	サワ	一ノ町	八六才
笹川	トイ	一ノ町	八六才
赤塚	クマ	能登	八五才
池田	吉松	左工門	八五才
岡村	タカ	一ノ町	八五才

増加した交通事故

最近の自動車、バイクなどの増加は、ものすく／＼、それにもない交通事故も急目立って多くなつてきている。

白根地区の本年一月より九月まで、十一件の大きな交通事故があったが、そのおもな原因は、

(1)見通しのきかない交差点、屈曲における左側や、徐行をしない、(2)すれちがいに速度をゆるめ安全を確保しない、(3)運転未熟による、と

公民館だより

公民館だより

政談討論会

日時 十月二十四日午後二時

会場 白根小学校講堂

主題 「眞の民主主義」

講師 自由党 渡辺良夫氏
改進黨 伊藤芳男氏
社会党右派 伊井健一氏
社会党左派 石田啓全氏
共産党 佐藤次氏

司会者 新潟日報社論説委員 木間欣爾氏

公民館図書紹介

公民館図書紹介

日本資本主義講座(一)十文学(岩波講座)一八

昭和文学全集(角川版)

佐藤春夫全集(角川版)

山崎秀策、昭和短歌昭和俳句集、内田百閒他二集、高浜虚子他二名集、舟橋聖一集

日本古典文学全集(河出版)

雨月物語、春物語

竹取物語、伊勢物語、落窪物語、現代随想全集(創元社版)

この納税の低調は新規事業の困難という現実となつて表面化しようとしている。

一方、納税者もデフレの波をかぶりおたがいに苦しい。昨今であるが、町のこの財政破たん、一歩手前という危機を回避させ、町民一人一人がさらに現在より以上に住みよい町にする、すなわち福祉事業を強力に遂行できるような町にするため町民一人一人の良心に訴え、一その協力されるよう町当局は切望している。

「新生」がトップ

「たはこ消費調べ」

本年九月期における白根町消費税を調べると

二四、三五〇本
一九、〇〇〇本

新生 四七七、〇〇〇本
バット 三五六、〇〇〇本
朝日 九、二〇〇本
みのり 一四、五〇〇本
ききよう 三九、六〇〇本
であり、町民一人当り一ヶ月、巻煙草、約百本と、ききよみ六五を「けむり」にしている。なお、昨年同期と比較すると

新生	六割九分五厘増
朝日	六分三厘減
バット	五分一厘増
みのり	一分八厘減
ききよう	五分四厘増

と、「新生」がグンとのしり上り総売上高は約二百〇五万円。その消費税は約九万七千円。その一助となつている。

十一月新潟交響楽団来演

十一月新潟交響楽団来演

町音楽同好会の後援で新潟交響楽団の来町が確定した。当日の出演人員は二管編成の四十余名